

NO	タイトル	副タイトル	出演者など	出版年	出版社	収録時間	内容	現在場所	番号	請求記号	備考
19	大好きな人 東日本大震災 せんせい奮闘記	ふくしま絵う た本プロジェ クト	菅野 米生 他:声の出演	2021.6	まち物語 制作委員 会	本編約32分 25秒	翌年には新校舎への移転がきまっていた築50年の小学校。そこに起こった地震。天井が落ちる校舎から子どもを逃がす教師。避難した校庭には雪交じりの寒風がふき、教師たちはビニールシートを掲げ子どもたちを寒さから守る…震災時における学校の先生のがんばりを伝える物語。	DVD	0599	DG 36	シン
18	命のおにぎり 東日本大震災 避難生活物語	ふくしま絵う た本プロジェ クト	岡 洋子 他: 声の出演	2021.6	まち物語 制作委員 会	本編約28分 31秒	避難生活が続く2014年の新春、東北を襲った突如の大雪。あまりの豪雪に車は立ち往生。閉じ込められて数日、ドライバーに命の危険が迫る中、立ち上がったのは道路沿いの仮設住宅に暮らす飯舘村の避難者だった。小学校の教科書でも紹介されたエピソード。	DVD	0598	DG 36	シン
17	見えない雲の下で	ふくしま絵う た本プロジェ クト	阿部 頼繁 他:声の出演	2021.6	まち物語 制作委員 会	本編約30分 26秒	3月11日以降始まった避難生活。震災前、浪江町で民話の語り部活動をしていた佐々木ヤス子さんは桑折町の避難所にいた。佐々木さんは避難を綴った随筆「恐ろしい放射能の下で」を自費出版し、避難所で出会う人に配布していた。その本を元にしたいまさ鉄平初の震災紙芝居。	DVD	0597	DG 36	シン
16	私は帰らない なみえ母娘避 難物語	ふくしま絵う た本プロジェ クト	岡 洋子 他: 声の出演	2021.6	まち物語 制作委員 会	本編約35分 58秒	介護施設に勤務しはじめたばかりの娘は懸命にお年寄りの世話をし救助を待っていた。慣れぬ仕事と重労働に娘は倒れる。命の危険が迫る中、「私は帰らない」と言い張る娘を想い、母は施設長に「私の代わりに抱きしめてほしい」と頼む。	DVD	0596	DG 36	シン
15	浪江ちち牛物語	ふくしま絵う た本プロジェ クト	石井 絹江 他:声の出演	2021.6	まち物語 制作委員 会	本編約40分 18秒	原発事故により汚染された福島の子牛たちを下った殺処分命令。安楽死させられた牛の数は3000頭を超える。人に運命を握られる牛たち、機械的に処分をされると捉える人も多い。しかし、そこには精神を病むほど悩み苦しむ酪農家もいた。牛目線で酪農家の悲しみを伝える。	DVD	0595	DG 36	シン
14	無念 浪江町消防団物語	ふくしま絵う た本プロジェ クト	大地 康雄 他:声の出演	2021.6	まち物語 制作委員 会	本編約53分 36秒	地震、津波により壊滅状態となった浪江町の請戸地区。そこには助けを求める命があった。余震、津波の恐れがある中、消防団は翌朝救助に来ることを約束し、一旦撤収したが、原発事故が発生し…助けられた命があることを知りながら避難を余儀なくされた無念は何年経っても消えない。	DVD	0594	DG 36	シン
13	震災と復興 50年後の新地 人へ					31分35秒	① 50年後の新地人へ贈るメッセージ(17分) ② 記念誌DVDダイジェスト(7分18秒) ③ 新地町空撮映像(2010年)(7分17秒)	DVD	0323	DG 99	シン
12	命の次に大切なもの		村上 哲夫・村 上 美保子 他:声の出演	2014.09		本編約16分 30秒	「命の次に大切なもの」は、2011年3月11日東日本大震災において福島県新地町で津波被害に遭われた朝日館のおかみさんが、地元漁師たちから海の上での様子や心情について聞き取りし、まとめた物語です。まち物語製作委員会がアニメーションにしました。	DVD	0331	DG 99	イノ

11	証言記録 東日本大震災 3 6 福島県新地町					本編約43分	100人余りの犠牲者が出た福島県新地町。大津波警報が出てても多くの人が逃げようとせず、地震の後片付けをしたり、海岸に津波見物に行っていた。津波を警戒しなかった理由はこの町が唯一経験した1960年(昭和35年)のチリ地震津波の体験にある。人々の記憶には被害が少なかった津波ではなく、水が引いた海岸で魚や海藻を取った思い出ばかりが残っていた。今回の津波でも、人々はチリ地震津波を越えないと勝手に思い込んでしまった。2014年12月14日NHK総合で放送	DVD	0369	DG	99	シヨ	
10	東北記録映画三部作 第二部 なみのこえ 新地町		酒井耕・濱口 竜介	2018.11		本編109分	『なみのおと』から一年。新地町と気仙沼での対話が記録された。「被災者」の声ではなく、現実にそこに生きる「一人ひとり」の声として。百年後、私たちは死者であり、この映画は「死者の声」になっているだろう。ここに収められた彼らの声と、今は聞く事のできない波に消えた声が、100年後の未来で繋がっていることを祈って、この映画『なみのこえ』は撮られている。『なみのこえ 気仙沼』『なみのこえ 新地町』の二編構成。福島県で収録された『新地町』編には、役場の上司と部下、美容師夫妻、漁師親子らが出演している。	DVD	0551	DG	99	トウ	
9	JR東日本の奇蹟を生んだ 組合員の声 -3.11の教訓-				東日本旅 客鉄道労 働組合	73分	① 仙石線 野蒜駅付近で被災した組合員の証言 ② 常磐線新地駅で被災した組合員の証言 ③ 常磐線 久ノ浜駅付近で被災した組合員の証言 ④ 大船渡線 大船渡駅付近で被災した組合員の証言 ⑤ 仙台支社 輸送指令で被災した組合員の証言 ⑥ 日立駅で被災した組合員の証言 ⑦ 常磐線 原ノ町信号通信メンテナンスセンターで被災した組合員の証言 ⑧ 組合員のヒューマニズムを育むJR東労組 ⑨ Maxやまびこ142号で被災した組合員の証言 ⑩ はやて26号で被災した組合員の証言 ⑪ やまびこ63号で被災した組合員の証言 ⑫ 東日本大震災を経験したJR東労組の教訓	DVD	0244	DG	99	ジエ	
8	3・11 東日本大震災 激震 と大津波の記録					本編約80分	2011年3月11日、巨大地震が発生。直後に襲った大津波は、多くの命や故郷を奪った。大きな悲しみに包まれる中、互いに助け合い、復興に向けて歩み出す人々。地震発生直後から、復興へ向けた震災後50日間の歩みを記録。	DVD	0300	DG	36	シン	
7	海上保安官が見た巨大津 波と東日本大震災復興支援					本編約118 分	巡視船「まつしま」が見た津波／「3月11日海上保安官が見た巨大津波」八戸海上保安部 宮古海上保安署 釜石海上保安部 巡視船「きたかみ」釜石港からの緊急出港 気仙沼海上保安署 仙台航空基地 MH906(仙台航空基地)空撮、名取～仙台塩釜港 福島海上保安部 市原コンビナート火災「ひりゆう」消火活動 // 「東日本大震災復興支援」3月12日石巻港の貨物船「TULIPAN」からの吊り上げ救助ほか 3月14日気仙沼市南中里町の民家からのヘリ吊り上げ救助ほか 3月16日相馬港内の「パインウエーブ」から23名の吊り上げ救助 3月19日南相馬病院からの患者緊急搬送 4月1日気仙沼沖合で特救隊と「つがる」乗組員による犬救助 4月15日「釜石港湾口北防波堤灯台」の仮灯取り付けほか 4月18日女川町塚浜の行方不明者捜索 4月19日石巻市桃浦港の行方不明者捜索【名取市関上(ゆりあげ)漁港で水中捜索含む】 5月25日福島第一原発10km圏内での行方不明者捜索 6月18日南三陸町荒砥で緊急水中捜索	DVD	0188	DG	36	シン	

6	東松島市からのメッセージ	震災を語り継ぎ未来を創造するために				本編約45分	東松島市図書館が、これまで、震災直後から自然災害の記録として市民の震災の体験談、被災写真や資料を収集・整理してきたものを、仙台放送が撮影・編集を行い、映像記録集としてまとめました。	DVD	0354	DG	36	シン	
5	東日本大震災 福島				テクニカルスタッフ	約60分	2011年3月11日14時46分頃発生した三陸沖を震源とするマグニチュード9.0を記録した東日本大震災。発生から4か月後の7月5、6、7日に福島県各地の現状を撮影。被災された方のインタビューも収録。新地町の当時の状況や漁師の前沢正一さん(釣師)の証言もあり。	DVD	0275	RD G	99	ヒガ	禁帯出
4	3.11を語り継ぐ 民話の語り手たちの大震災		小野トメヨ 他：語り	2012-05-15		147分	①手を振って妻は…／鈴木義雄さん(名取市閑上で被災)②孫のひとことで2階へ／庄司アイさん(山元町で被災)③来ないはずのところに津波が／仲松敏子さん(南三陸町で被災)④津波に追いかけて裏山へ／高橋武子さん(南三陸町で被災)⑤手提げひとつで避難して／小野トメヨさん(新地町で被災)⑥家も田圃も畑も海水に／土見壽郎さん(塩竈市寒風沢島で被災)	DVD	0214	RD G	99	サン	禁帯出
3	心に残るあの頃の風景 みやぎ海岸線物語			2012-03-02		104分	【海岸線物語】1999年3月～10月放送分(SD映像 78分) 新地町/山元町・亘理町/岩沼市/名取市/仙台市/七ヶ浜町 他【あの頃の風景】2006年～2010年収録(HD映像 26分) 東松島市/名取市/亘理町・山元町/七ヶ浜町 他	DVD	0213	RD G	99	ココ	禁帯出
2	10年後の空へ					本編92分	2011年3月11日、東北地方太平洋沖地震、そして福島第一原発事故発生。村重さん一家は福島県いわき市で被災し、子どもの将来を考え、知人を通して沖縄県名護市に避難した。一家を通して、福島原発と基地問題を考える。	DVD	0192	RD G	36	シン	禁帯出
1	被災地から伝えたい テレビカメラが見た東日本大震災		東北大学大学院工学研究科 災害制御研究センター長 今村文彦教授：監修			本編約105分	突然の大きな揺れ、初めて目の当たりにする大津波、そして、安否や被害状況も確認できない中での恐怖と混乱、ライフラインが寸断された中での避難生活。1か月後、3か月後、半年、1年と経過するにつれ刻々と変わる課題。“あの日”以来、私たち仙台放送は“被災地から伝えたい”という強い思いをずっと持ち続けてきました。そして、今、改めて後世のために、あの日の出来事を語り伝えたいという多くの方々に出会いました。震災から1年が経過した今だからこそまとめることが可能となった、あの震災の、津波の記録と証言です。	DVD	0200	RD G	36	シン	禁帯出